

申 24 号 「2025 年 3 月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ

2025 年 2 月 5 日 千葉支社と団体交渉を行う その 2

3. 千葉支社内を運行する特急列車の乗務員(車掌)体制は、異常時等における運転取り扱い業務および安全確保・車内秩序維持・案内放送等のサービス品質向上を図るために 1 名での乗務とせず、2 名以上の体制を構築すること。

(回答) 乗務行路については、就業規則等に基づき列車設定等様々な制約を加味し、作成しているところである。

【(車掌) 複数人での乗務について】

- ▶ 現行、房総特急は運転担当 1 名、改札担当の 1 名の 2 名体制で乗務しているが、比較的編成両数が短い車両であれば 1 名で乗務ができる
- ▶ 自由席があったときに比べ、発券枚数は 1 割以下になっている。**一部混雑する区間については複数人での乗務を設定している**
- ▶ **最繁忙期、朝夕通勤帯については今後検証していく予定である**

【乗務体制が削減されていることについて】

- (組合) 乗務体制の削減は、社員数の削減や「変革 2027」によるものなのか明らかにすること
- ▶ そのような考えは持ち合わせていない

【車内巡回の実施状況等の把握について】

- (組合) 今後の車内巡回の実施状況等は把握していくのか明らかにすること
- ▶ 引き続き乗務員の声を聞いていく

安全性とサービス品質を維持・向上できる乗務体制の確立が必要だ!!

4. 全車指定席で運転される特急列車であるにも関わらず、未だ無札乗車される乗客が後を絶たないことに対する見解と対策を具体的に明らかにすること。なお、特に無札乗車の多い千葉駅 7 番線～10 番線ホームおよび東京駅京葉地下・総武地下ホーム上に指定席券売機の増設・新設を行うとともに、制度利用に関する事前周知の徹底を図るなどの対策を強化すること。

(回答) 駅の販売体制については、お客さまのご利用状況等を勘案し、決定しているところであり、現時点では新たな設備を整備する考えはない。

なお、お客さまへの周知等については、引き続き実施していく考えである。

【車内改札時の発券(発売数) などについて】

- (組合) 平均の発売枚数について明らかにすること
- ▶ 朝・夕は 5～10 枚程度、日中・土日は 10～20 枚程度である
 - ▶ お客さま対応の時間を調査しているが、改正直後は 1 分前後、半年後は 25～30 秒で対応している

【座席管理システムの設置について】

- (組合) 座席管理システムを設置する考えはないのか明らかにすること
- ▶ 現在のところそのような考えはない

【無札対策としての指定席券売機の増新設について】

(組合) 特急券を買いたくても買えないお客さまもいる。千葉駅・東京駅の京葉線ホーム上に M V (指定席券売機) を設置すること

- ▶ **千葉駅の M V についての声は把握している**
- ▶ ホーム上券売機で未指定券を買えるようになってきている。チケットレス化を進める上で M V を設置する考えはない
- ▶ 現行では、東京駅地下 4 階に 2 台、2023 年 12 月に総武地下ホーム 3・4 番線に 2 台設置している。京葉ホームの地下 1 階に 2 台あるが、ホームまでの距離があるので案内シールなどで対応している

(組合) 具体的な周知方法を明らかにすること

- ▶ 現業機関の企画業務で率先して取り組んでいる。駅では説明会の開催、車内放送、その他時間を活用している
- ▶ 支社からの一方的ではなく「融合と連携」を進めていく
- ▶ 「房総特急サポーター」をつくり現場と一体となって進めていく